

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立高輪子ども中高生プラザ						
指定管理者	一般社団法人 本所賀川記念館						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	高輪地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	21	19	2	47	0	47	1	69
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	7	2	3					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
利用者数（人）	96,402	106,140	114,419			
グループ活動等実施回数(回)	634	331.0	492			
グループ活動等参加人数(人)	12,195	7,705	7,618			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
経費実績	収入	163,685,775	165,787,573	183,393,121	0	0
	指定管理料（清算後）	163,685,775	165,787,573	183,393,121		
	利用料金収入	0	0	0		
	その他収入	0	0	0		
	支出	163,361,677	165,461,461	182,180,843	0	0
	職員人件費	111,608,951	115,112,982	130,368,125		
	光熱水費	11,781,891	10,336,772	10,589,055		
	修繕費	3,742,960	3,311,330	4,213,737		
	事業運営費	6,383,975	6,634,309	6,405,381		
	施設管理経費	22,468,716	22,690,884	23,012,545		
	その他経費	7,375,184	7,375,184	7,592,000		
	差引収支額	324,098	326,112	1,212,278	0	0
	年度協定書で定める指定管理料	167,229,551	171,567,840	189,649,532		

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者 による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	1 / 5	1 / 5	×5	5 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						74 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	利用者数が前年と比較し8000人以上増加した。理由として、グループ活動の実施回数の増加や、日常的な育成の向上、また、職員の変動も少なく安定した職員配置で運営できたことで、利用者の安心につながりリピート利用が増えたと考えられる。人材育成にも力を入れ、外部施設への実践研修や館内研修の充実化を行ったことも一因にあると考えている。また、建物は築13年を迎え、様々な箇所で大規模な修繕が必要だが管理課にすぐに報告・相談し適切な処置を行った。
区（施設所管課）による評価	サービスの向上として利用者参画のプログラム「高学年会議」「中高生会議」を定期実施 人材育成に力を入れた成果として安定的な運営ができ、利用者の増加に繋がり、高輪地区の児童健全育成の施設としての役割を果たしています。今後も乳幼児から中高生にかけて幅広いニーズを汲み取り、積極的な活動に取り組むことに期待します。 しかし、地域住民の理解を十分に得られなかったことで予定していた事業の内容変更などが必要になったため、地域の住民や団体、他施設と連携した事業をさらに行えるよう区として今後も適切な周知について指導・支援してまいります。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）